

平成 28 年度事業の総括

平成 28 年度の沖縄観光の入域客数「ビジットおきなわ計画」目標 840 万人（海外 200 万人）に対しまして、876 万 9,200 人（国内 664 万 100 人・海外 212 万 9,100）で、対前年比 83 万 2,900 人増加、率にして 10,5%の増加となり、4 年連続で過去最高を更新し、29 年度で 900 万人に届きハワイを追い越す勢いとなった。

前年度と比べ増加の要因としては、羽田―宮古路線の拡充や伊丹・羽田―那覇路線と各離島への直行便も好調であった。特にクルーズ船の寄港回数は前年比 166 回増の 387 回と大幅に伸びたことも考察すると外国人の景気感が上向いたことが旅行需要増に拍車をかけ、旅行マインドがプラスに動いたと見られる。また、国内外における官民上げての継続したプロモーション活動の効果も含め入域増の大きな要因として考えられる。

名護市観光協会では、県内外からの観光客誘致のため実施している、第 38 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会（約 6,775 人）、第 55 回名護さくら祭り（二日間・133,000 人）のイベントを実施したほか、その他、名護市 P R 事業として、東京都にて日本さくらの会総会・群馬県館林つつじ祭りや、北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー&名護デーに名護さくらの女王を派遣し名護 P R を行った。

また、体験型事業として、ハーリー体験・

名護まちなか散策ガイド事業を主に、11 月修学旅行フェア（大阪）に職員を派遣、1 月下旬日本一早いさくら祭り等を名護市のパンフレット・DVD を活用し P R 活動を実施し名護市の魅力や着地型商品の P R を行った。

名護さくらの女王選考会も 43 回をむかえ年々参加者が激減しており、市民をはじめ、各企業・団体へ協力派遣依頼の強化を図って行きたいと思えます。

ハーリー体験事業の受入につきましても、修学旅行 1 校・企業 1 社に留まり、先方の都合によりキャンセルがあったものの、引き続き体験型商品の P R 強化を行ってまいります。今後も、名護市商工観光局と連携を図りながら、名護市の観光基本計画を基に、時代に即して改善すべき部分を確認し、本協会が地域社会に対し果たすべき役割を明確にして、実践的に考えていきたいと思えます。

【主な事業】

1. 2016 海フェスタ in 名護の開催

平成 28 年 4 月 16 日(土)21 世紀の森ビーチに於いて、ビーチクリーンを各企業・団体含め約 100 名の動員がありました、また、名護市長はじめ観光協会役員関係者で海の安全祈願祭を行いました。また、第 42 代名護さくらの女王の夏服のお披露目も行い名護さくらガイドの認定式や少年ビーチサッカー大会も同時に開催し海フェスタを盛上げた。

2. 第 38 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会

観光振興及び漁業振興を図る目的で、平成 28 年 8 月 7 日(日)名護漁港構内において 185 チーム 2,775 名の選手が参加し観客を含め約 6,775 名の動員数があり『ハーリー甲子園』と呼ばれるにふさわしい県内最大のハーリー大会が行われた、県外から友好都市の館林市から 1 チームの参加がありハーリー交流も含め大会を盛上げた。

【男子の部】

優 勝 :	沖縄水中処分隊	(うるま市)	3. 24. 52
準優勝 :	チームタクミ	(糸満市)	3. 24. 52
三 位 :	名護市消防本部 A	(名護市)	3. 25. 41

【女子の部】

優 勝 :	10 俱琉	(名護市)	1. 44. 80 (5 連覇)
準優勝 :	友遊会	(名護市)	1. 46. 79
三 位 :	ガナーズレディース	(宜野湾市)	1. 47. 29

3. 観光人材育成プラットフォーム事業（おもてなし術を育み顧客満足度を考える）講座の開催

平成 28 年 10 月 7 日～10 月 28 日（5 日間/10 時間）

賛助会員及び関係機関へご案内をして、おもてなし術に必要なスキル・コミュニケーションの重要性・電話対応等実施し、お客様の満足度を高めるためのスキル・知識の向上を図り自信を持った接客ができることを目的に観光施設の若手スタッフ 10 名が受講した。

4. 観光人材育成プラットフォーム事業（接客マナー）講座の開催

平成 28 年 12 月 21 日・26 日・平成 29 年 1 月 11 日（3 日間/8 時間）

賛助会員及び関係機関へご案内をして、接客の基本・コミュニケーションの重要性・社会人の基礎力等を実姉し、必要とされる能力や行動の明確化・高感度を示す 5 原則や具体的な表現方法等、観光客受入に必要な知識の習得やより良い対応の仕方を学ぶ目的で、OCVB より講師を派遣していただき宿泊施設・観光施設の職員を中心に 6 名が受講した。

5. 第 43 代名護さくらの女王選考会

平成 28 年 12 月 17 日（土）、名護市産業支援センター大会議室で行われた、さくらの女選考会において伊佐 碩子^{せきこ}さん・吉川 華保^{かほ}さん・比嘉 むつみさんの 3 名が第 43 代名護さくらの女王に選ばれた。3 名の女王は、1 年間の任期で名護市の親善大使として、県内外で名護市の PR 務めている。

6. 第 55 回名護さくら祭り開催

「日本の春はここから始まる」をキャッチフレーズに、平成 29 年 1 月 28 日と 29 日の 2 日間開催。、シャトルバスで名護城の桜見見学を実施（バス利用者二日間 1,210 名）・名護大通りをトランジット化させ市民参加型のイベントを実施、また名護漁港で開催されたガーデーンフェスタ会場にも多くの方が来訪、友好都市の滝川市・八幡平市・館林市・枚方市の関係者を始め、市内外から、約 133,000 人余（本部前 2 日間統計）が名護市を訪れた。祭り期間中の開花状況 3 分咲きであったが、2 月中旬の満開となった。

7. ハーリー体験事業

平成 28 年 11 月 9 日（水）21 世紀ビーチにて、東京都聖望学園高校 320 名、11 月 21 日（月）株式会社タフ 66 名を受け入れた、協会職員・漁業組合・ハーリー関係者の協力をいただき安全な海の体験事業を行うことが出来た、着順を競うハーリー競漕は、『名護ハーリー』チームビルディングプログラムを取り入れ、団結力・達成感が図られチームワークと組織力向上に寄与します、また、地元関係者との交流ができることから、旅行社・学校関係者から高い評価をいただいている。

8. やがじ夢の架け橋事業

平成 28 年 7 月～平成 28 年 2 月（8 ヶ月間）

屋我地地域において、観光関連事業者の参入により地域の資源を活用した体験メニューの開発及び提案が寄せられており、地域と観光関連事業者等との共存に向けたルールづくりに向けて、地域住民の意見を互いに共有する場をつくり地域の課題を整理する目的で委託業務を行いました。

やがじ地域の関係者より民泊事業を行い体験型商品を発信したい意見が多くワークショップやモニターツアーを実施した。

ワークショップ：3 回（45 名）

モニターツアー：1 回（民泊体験者 11 名）

9. 市営駐車場指定管理事業

平成 27 年度より市営駐車場の指定管理業務を実施し、名護さくらガイドを派遣し観光案内業務も含めたサービスの提供を行っている。

【27 年度】

城駐車場：契約可能件数 33 台/26 件

港駐車場：契約可能件数 83 台/30 件

がじゅまる駐車場：契約可能件数 88 台/70 件

【28 年度】

城駐車場：契約可能件数 33 台/12 件

港駐車場：契約可能件数 83 台/32 件

がじゅまる駐車場：契約可能件数 88 台/88 台

【協力事業】（付属明細）

1. 日本さくらの会中央大会総会

平成 28 年 4 月 12 日～14 日の日程で、第 51 回さくら中央大会へ第 42 代名護さくらの女王山川 夏穂^{かほ}さんと職員 1 名を派遣した、名護市は県内唯一の日本のさくら 100 選出されており、さくら前線は南の名護市から日本一早いさくらの PR を行った。

2. 第 23 回羽地ダム鯉のぼり祭り

平成 28 年 4 月 30 日・5 月 1 日の日程で開催されました、鯉のぼりの掲揚数として 300 匹羽地地域の関係者を中心に祭りを盛上げており二日間で 20,246 人が会場に足を運んで頂きました。観光協会と致しましては、名護さくらガイドによる羽地地域の歴史・文化・自然を満喫できる羽地ジブンウォークを行い参加者数 22 名が地域資源を学びました。

3. 北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー

平成 28 年 5 月 12 日～15 日の日程で、50 名の応援団を札幌ドームに派遣し、ファイターズと西武ライオンズ戦を観戦した、グラウンド内では、さくらの女王からの花束贈呈や歌を披露、名護市関係者でベースランニングやチアガールと一緒に YMCA 等も踊り会場を盛り上げた。また、スタンド裏では、名護市の特産品の販売も同時に行い約 3 時間名護市を PR する事が出来た。

4. 第 28 回ツール・ド・おきなわ 2016 の協力

平成 28 年 11 月 12 日（土）13 日（日）

第 28 回を迎えたツールドおきなわ年々参加者が増え今年は、4,741 名（県内 1,975 名・県外 2,372 名・海外 394 名）対前年より 148 名増加となった。中でも、一輪車・三輪車で県内 370 名エントリーがあり子ども達の認知度が高まっている結果である。

5. 2016 冬の街フェスカリークリスマス in 名護

平成 28 年 12 月 23 日（金）

名護市のシンボル「ひんぷんがじゅまる」の価値を市民が再認識すると共に保護・保全にムーブメントを上げ末永く輝き続けること願い、新しい名護市のイベントとして開催しております。実行委員会を発足し、当協会としましては、事務局の窓口として協力を行いました。当日は、約 3,000 人の来場を頂きディアマンテスのライブが始まると雨もあがり会場は最高潮に達した、来場者からは次年度も開催してほしいとの声が上がっている。

6. 第 29 回 名護・やんばるツデーマーチの協力

「健康と生きがいづくり」をテーマに、平成 28 年 12 月 10 日・11 日の 2 日間開催、5km から 40km までの 8 コースに 2,283 名（県外参加者 475 名）が参加、秋のやんばる路ウォーキングを楽しんだ。名護市全域を舞台にしたこの大会は、日本マーチングリーグ公認 15 大会の一つで、年末、しかも唯一亜熱帯での大会とあって、最も人気のある大会となっている。観光協会は、商工観光課と連携をし大会本部及び各コースの運營業務を行った。

7. 北海道日本ハムファイターズ春季キャンプ支援

東京から北海道に本拠地を移して 13 年目を迎えた北海道日本ハムファイターズ、今年から前半アメリカアリゾナ州にてキャンプを行い、平成 29 年 2 月 13 日から 26 日までの 13 日間、名護でキャンプを行う事になった。名護市の計画通り平成 32 年 2 月新球場開設に向けて、名護市観光協会は、市及び商工会と共に「北海道日本ハムファイターズ名護協力会」の構成団体として、ファイターズのキャンプ受入協力と支援を行っている。

8. オープン戦の開催支援

平成 29 年 2 月 25 日（土）阪神タイガース戦、約 3,500 名の来場があった。観光協会は、ファイターズ名護協力会として事前広報・当日の応援を行った。

9. インターネットHPによる情報発信

名護市の観光情報の発信及び情報収集を目的として、インターネットのホームページ上で、最新情報発信および会員の事業所紹介に努めた。

【アクセス件数】（ ）は前年度件数

月	アクセス件数	1日平均
4月	7,075 (12,125)	235 (404)
5月	8,210 (12,593)	265 (419)
6月	9,442 (12,544)	315 (418)
7月	9,208 (12,113)	297 (403)
8月	14,588 (17,332)	471 (578)
9月	8,676 (11,688)	289 (390)
10月	8,646 (11,423)	279 (381)
11月	9,279 (12,643)	309 (421)
12月	9,176 (16,633)	296 (554)
1月	35,779 (40,561)	1,154 (1,352)
2月	13,691 (18,783)	489 (671)
3月	7,926 (10,324)	256 (344)

アクセス件数 合計141,696件 (昨年件数188,762件)

【対前年75% 47,066件減】

※総括

市内ローカル情報も定期的に情報掲載し充実を図っておりますが、全体的に、名護市の情報に限らず北部地域全体の電話による問い合わせが増えている。パワースポットや各地域の自然資源・食に関するお勧め店も強く打ち出す事も必要と考えるなかで、HPのリニューアルを求められる声も多く要検討課題である。特に、多言語によるパンフレットやマップを要求するお問い合わせが増えており、市観光局と調整を行って行く必要がある。

※上半期：4月～9月の動向

夏のシーズンを迎え、観光施設・イベント情報等の問い合わせが多い中、夏まつり・ハーリー大会や海水浴場・BBQ広場の紹介または、パインナップル・マンゴー等の購入先などの問い合わせも多数あった。

※下半期：10月～3月の動向

レンタサイクルやまちなか散策の問い合わせや、イベントに於いては12月のツーデーマーチ・

カリークリスマス・1月のさくら祭りやさくらの開花状況の問い合わせがもっとも多く、2月は、北海道日本ハムファイターズのキャンプについての問い合わせが多かった。